

長野県革新懇ニュース

2024年7-8月合併号
発行日7月25日
会費 2,000円
購読料 3,000円(送料込)
振替 00510-3-15971

298

発行 日本と信州の明日をひらく県民懇話会
(長野県革新懇) 発行人: 山口光昭 編集長: 高村裕
〒380-8790 長野市県町593 高校教育会館内
TEL: 026-234-1231 FAX: 026-234-2219 メール: mail@nagano-kakushinkon.com

====今号の主な記事====

- 1面 久保田竜子さんインタビュー
- 2面 1面続き、「近現代信州の歴史回廊」村山隆さん
- 3面 6.2市民アクション集会、県革新懇の講演会と総会
読者の声、漢字パズル、県革新懇の講演会と総会
- 4面 「雨よ降れ」空白の手帳 窪島誠一郎さん
「写真で迎える信州と戦争」北原高子さん
映画評論『オープンハイマー』内山到さん

長野県革新懇

検索



長野県生まれ、立教大学卒、公立中学・高校で英語教諭(1980-1986年)、1992年トロント大学で教育学博士号取得。米ノース・カロライナ大学で14年以上の准教授・教授を経て、2009年より現職。専門は応用言語学。

批判的応用言語学の目標は 平等な人間関係を築くこと

久保田 竜子さん

(カナダ・ブリティッシュコロンビア大学教授)

高校時代の恩師の 影響で英語の教師に

Q どのような経緯で現職に就かれたのですか？

高校時代に3年間英語を教えていただいた渡邊時夫先生(その後、信州大学教育学部教授)が素晴らしい教師で、フルブライト留学生としてハワイ大学で学ばれた経験があり、英語も大変堪能で、教え方も優れていたもので、その影響を強く受けて、英語の教師になろうと思いました。大学を卒業してから小布施中学校で3年間ほど英語と音楽を教えました。さらに英語を学びたいと思い、退職して1年間ほどアメリカに武者修行的な研修に行きました。一旦帰国して、神奈川県立高校教員として臨時採用教員として英語

を2年ほど教え、修士号を取るために再びアメリカに行きました。修士号取得後、アメリカでの就職がうまくいかなかったため、残念ながら帰国したのですが、その後、カリフォルニアの小さい私立大学の夏季集中講座で日本語を教える仕事をいただいたので、そこで9週間教えました。その間に、その大学の教授が急に辞められたので、引き続き1年間教えることになりました。さらに続けたかったのですが、博士号がないと取得のためにカナダのトロント大学へ行きました。そこで言語教育の博士課程を終え、以前勤務していたカリフォルニアの大学に戻り、3年間教えました。その後ノースカロライナ大学チャペルヒルに移り、14年ほど日本語と外国語教授法を教えました。そして、2009年にカナダ、バンクーバーにあるブリティッシュコロンビア大学に移ったわけです。カナダには15年以上暮らしています。

カナダの地でも 「9条の会」が活動

Q カナダの「9条の会」に参加されているとのことですが…

「バンクーバー9条の会」は05年に設立され、憲法9条の精神を広めるために活発に活動してきました。21年には、トロントやモントリオールにあった「9条の会」も一緒にあって、世界各地に住むメンバーも含め、「カナダ9条の会」として意見や情報の交換をしてきました。様々なイベ

米国と同じ方向に 進んでいる日本

Q 日本では軍事大国化の動きが急ですが、どのようにお考えですか？

憲法第9条では「武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」としているわけですから、この間の動きは明らかに憲法違

山本宣治の生き様と 勇気に感銘を受ける

Q 山本宣治に関心があるとのことですが、その理由は？

詳しい経過は思い出せないのですが、山本宣治がバンクーバーに滞在していたという

言語学習の目的は 人と繋がること

Q 英語教育、言語教育についてどのようにお考えですか？

英語教育に対する政府や文科省の考え方の根底には、企業の世界的な事業展開を進める上で、世界共通語ともいえる英語をマスターしておくことが必要だという認識があります。しかし一方では、英語を全然使わない人もいます。

【2面に続く】